

★ カウンセラーの目

「関係の濃度（密度）」について思いをめぐらせてみた

「ヒアリ（火蟻）」のニュースは最初、尼崎、その元は神戸港という流れだった。日々の生活でなじみの深い地名だったので、関心が向いたのだが、それ以外のルートでも流入しているらしい。

さらに「ヒアリの女王蟻」が大阪南港で見つかったというニュースも出た。これまで「関係」が薄かったり、無関係と言ってもよい状態だった対象との関係が、その濃度（関係の密度）を増してきている。

そうすると「関係の一方の当事者」としても意識する頻度が高くなり、「関係の濃度（関係の密度）」を相互に高めあうことになっていく。

「外から勝手に入ってきたモノに、こちらの日常生活が脅かされる」という構図は日本と13時間ほどの時差のある国の偉い人が入国を制限するとか、境界線に壁を建設すると言って注目された構図と類似点を感じる所もあるのだけど、「入ってきたモノ」と「ヒアリ」の「関係の濃度（関係の密度）」は薄い（低い）と感じている人が多いようなので、今の所、同等の問題としては扱われていないようだ。

若い棋士の勝利が29連勝で止まった（止められた）というニュースが頻繁に流されていた。

「機敏に仕掛けられてそのまま押し切られてしまった。連勝はいつかは止まるものなので仕方ないが、本局はちょっと勝負どころなく敗れてしまったのが残念です。」とのコメントをしたという情報があった。

棋士自身が「関係の濃度（関係の密度）」の濃さ（高さ）を感じている部分は「機敏に仕掛けられてそのまま押し切られてしまった」という部分と「本局はちょっと勝負どころなく敗れてしまったのが残念です」という部分なのだろうと感じたが、ニュースに取り上げた側の「関係の濃度（関係の密度）」の濃さ（高さ）を感じている部分は「連勝・止まる」だったのだろうと思えた。棋士としては経験した事実から「後の一手」を検討し、今後につなげていくということになるのだろうと思えるのだが、「連勝・止まる」に注目してニュースを見た人は何につながっていくのだろう。

このニュースは「台風情報」と同系統のものと考えたらよいのだろうか……。

台風が日本の一箇所に留まって勢力を維持し続けているということがあったら、意識する頻度が高くなるが、太平洋側に抜けて熱帯低気圧になりましたという事態になると、意識する頻度は低くなり「関係の濃度（関係の密度）」の濃さ（高さ）は薄く（低く）なっていく……ということは、「全然、負けない」という（異常な）事態が続くことが濃さ（高さ）を維持していて、「連勝・止まる」ということで、「熱帯低気圧になりました」と同様に「濃さ（高さ）を維持しなくてもよいです」ということになり、そこにニュースとしての意味（意義）があって取り上げられたということだったのか……じゃあ、ニュースに関心を向けた人は「何につながっていく」かを考えなくても、単に「ホッとする」だけで良いということになるようだ。

将棋と関係するニュースとして「電王戦」で将棋プログラムが棋士に勝利したという情報があった。

自立思考するAIを含むプログラムがプロ棋士に勝利したということと、最近、AIが実社会で利用される機会が多くなっていることで関心を集めてい

る。

世間一般の注目は「AI・人工知能」の性能と社会への影響ということに向いているようだが、研究としての注目は「知能」ということだけでなく「意思」「意識」という方面へ向かっているようだ。

「AI・人工知能」の性能向上ということを脅威と考える人も居るようだが、「知能」ということだけであれば「AI・人工知能」は高性能の道具という域を出ることにはなりそうも無い。

現状の将棋プログラムは（将棋という）特定のルールの中でより有利な状況を作り出すためには、どのような介入をすればよいかを検討するという知的作業を繰り返して情報を蓄積して対処スキルを向上させるということを行っているように思える。

現状の「AI・人工知能」はプログラム開発者が大会参加申し込みをして、対戦会場へ搬送してハードウェアとソフトを連動するようにして、起動させるとプロ棋士を圧倒するような成果を示すという状態だ。

この状態そのものには脅威を感じる必要は無いのではないだろうか……脅威というか、今後の自分との関係を意識したほうが良いという状態というのは、「次回の電王戦に参加したいです」というメッセージを将棋プログラムが発信するような事態になったときだろうと思える。

「参加したい」というメッセージの背後には「意思」がある（可能性がある）と考えられ、それは「AI・人工知能」プログラムではなく「人工意思」プログラムということになる。

意思表示という事態が生じ、対応する存在（現状では人間）が、その情報を受取ることが生じると「関係」が生じ、しかも単に関係が生じただけでなく、相手側（「AI・人工知能」）から「関係の濃度（関係の密度）」の濃さ（高さ）を増加させる働きかけが行われているという状況になる。

これに対して意思表示を受けた側として、その関係の濃度（密度）を濃くする（高める）対応をするのか薄く（低く）する対応をするのか対応を求められることになる。

ただ、この事態は「人工意思」からの「意思表示」か他者（人間）からの「意思表示」なのかを区別して考える必要は無さそうに思える。

（高石 公資）

スポッチャ

ものづくりかふえ



イベント紹介・報告

☆6月3日 第10回郡上踊り in Kyoto

例年だと市庁舎広場でおこなわれていた郡上踊り in Kyoto。今年は御池の地下街ゼストで催されました。笛や太鼓のお囃子にのって大勢の方々が踊っている様子に圧倒されました。岐阜の物産展もやっていてゆるキャラとも会えました。お祭りの雰囲気を楽しんできました。



☆6月15日 集い場○レクリエーション部B スポッチャ

5月にあった初のレクリエーション部ミーティングにて、『スポッチャ』に決まり、6月15日(木)に伏見ラウンズに4人で行ってきました。

始めは、4Fの屋内にて、各々、卓球や射的などを楽しんでいました。その後は、暑い中ではあったものの、5Fの屋外に行きました。初めてバッティングに挑戦した1人は、かなりハマってしまったようでした。また、最後にみんなで行った、バドミントンでは、かなり白熱した男の戦いが繰り広げられました。

次回は8月10日(木)に実施します。興味のある方は、是非、気軽に参加してほしいです！待ってます！



☆6月24日
集い場○散策部祇園

今回は祇園近辺の散策と祇園花月で
吉本新喜劇の観賞をしました。
やっぱり新喜劇は面白いですね。



☆6月20日
集い場○健康体操教室

毎月1度の体操教室です。軽い運動と
ストレッチヒーリング棒を用いたマッ
サーージなどを行っています。
8月はお休みです。



ものづくりかふえ

☆6月16日
羊毛フェルトと毛糸でポンポンや夏の小物を作りました。



お知らせ

☆ 機関紙の購読または設置していただける方を募集しています

- ・当所の活動報告を行う機関紙「KSCE 通信」や案内三折パンフレット・各種活動チラシ・同居団体個別指導学習塾「個別教育予備校 MES」の三折パンフレットなどをおいていただける方・場所の情報を教えていただける方などを募集しています。
- ・個人で機関紙を購読という形でご支援いただける方募集しております。機関紙購読は送料込みで年3600円でご支援をお願いしております。メール添付による個人の方は2400円・関連団体や連携団体の方は原則無料で送付させていただきます。
- ・機関紙に広告を掲載させていただくことでの広告料という形式でのご支援も募集しております。
- ・機関紙は紙面による配布とPDF形式によるメール添付形式で行っております。

☆ 賛助会員・寄付会員を募っています

賛助会員は12000円／年

寄付会員は金額は任意です。どちらの会員も機関紙による活動報告をさせていただき、会員の種類・金額により、ものづくりかふえ活動での手作り品のお礼をさせていただいています。寄付会員の方は、良ければ機関紙に寄付の方のお名前を掲載させていただけると幸いです。

左京区 匿名様より寄付いただきました。ありがとうございました。

☆ 物品寄贈も随時募っています

衣類・雑貨・書籍など市役所前フリマに出店して販売できるものを随時募集しています。ゴミの減量目的のリユース活動として、フリマの収益は当所の運営に充当させていただきます。NPOの苦しい会計の手助けをしていただけると幸いです。また当所の学修サポート・フリースペース提供・フリースクール活動で使用できる教材・赤本・高校卒業程度認定試験対策問題集・教科書・教科書ガイド・問題集・マンガ・小説・知育玩具・パズル・ボードゲーム・カードゲーム・スポーツグッズ・収納関係（要事前相談）・OA機器・OAサプライ等を随時募集しています。宅急便（費用はお願いしています）・持ち込みなどをお願いしております。徒歩圏内は台車でのお伺いも可能です。賛同していただける方は電話・メールでお申し出ください。もしよろしければ、通信による活動報告や、通信へのお名前の記載をさせていただけると幸いです。

大阪市 匿名様、東京都 匿名様より寄贈いただきました。ありがとうございました。

（お名前掲載の許可をいただけた場合には氏名で掲載させていただきます）

○ 京都教育サポートセンターの活動をご支援ください

ボランティア募集・物品寄贈・賛助会員・寄付会員・などのお問い合わせはお気軽にお申し出ください。電話（075-211-0750）は火曜日～土曜日の11時から18時（時間外も代表在中時は対応いたします）メールは24時間受付 soudan@ksce.jp まで。

集い場○

集い場○（サークル）は活動内容が決まっている中でその内容に対して参加者が集って交流をしたりしていくものです。

活字倶楽部 次回 8月23日水曜日 14時半～16時

健康体操教室 8月は実施しません

学食 Walk 8月は実施しません

7月28日のミーティングで9月実施分を決定します。

散策部 7月8日のミーティングで決定しますが

8月または9月の実施になります。

レクリエーション部 次回 8月10日木曜日 詳細はブログなどで告知します

ものづくりかふえ 次回 8月18日金曜日 15時～16時半

※アポロ活動・集い場○活動への参加には原則として
事前申し込みが必要です。（内部生は事務所内活動は連絡なくても可能ですが
変更の場合もあるので軽くスタッフに伝えるだけでもありがたいです）
また利用生でない方の参加申込は初回に連絡先・名前・年齢が必要です。
2回目には事前アンケートの記入をお願いいたします。

※集い場○やアポロ活動実施日の居場所利用について
前納制のフリースペース利用内部生以外については下記の通りとします。

◎事務所内活動で16時半までに終了するもの

集い場○やアポロ活動日の居場所利用を17時までとします。

17時以降（当所は原則18時までです）の利用は200円必要になります。

◎午前中実施のものは最大13時までとします。13時以降利用は1000円とします。

◎他の出かけるイベントや17時を過ぎるイベント・集い場○活動に関しては
終了1時間後までとします。

アポロ活動

実施内容の詳細は毎月第1日曜日実施のスタッフミーティングによって翌月のスケジュールを確定させます。飲食中心の交流活動（クリスマス会・忘年会など）・他団体イベントへの参加（過去の実績：勇気の出るライブ参加・フリースクール野球大会参加）社会活動（商店街清掃活動・バザー活動）行事への参加（祇園祭・時代祭・京の七夕・十日戎他）がこの活動にあたります。実施期間の項目で記述した活動内容は毎年行っているものを記載しました。

編集後記

2017年の夏まっさかりな時期ですが夏バテなどされていませんか？
京都の夏はいろいろと行事が行われるのでそこに参加するものが多い感じです。
よかったらご参加くださいね。

（南山 勝宣）

2017年 8月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
			高卒認定試験	高卒認定試験		京の七夕鴨川納涼
6	7	8	9	10	11	12
				集い場〇レクリエーション部	山の日 パレット清掃 夏期休業	夏期休業
13	14	15	16	17	18	19
夏期休業	夏期休業	夏期休業	夏期休業 五山送り火	夏期休業	集い場〇ものづくりかふえ	夏の食事会
20	21	22	23	24	25	26
			集い場〇活字倶楽部			
27	28	29	30	31		

8月

(7月6日
時点の予定)

2日(水) 3日(木)
2017年度第1回高校卒業程度認定試験
日(※イベントではありません。受験の方
頑張ってください)

5日(土) 京の七夕 鴨川納涼
18時出発 20時半までに解散
参加費 内部生徒無料 その他200円

10日(木) 集い場〇レクリエーション部

11日(金) パレット河原町清掃活動日
参加費無料 + 掃除後の喫茶店お茶付き
9時20分事務所集合 11時には解散
(この日はKSCEお休みなので活動参加のみ
です)

16日(水) アポロ事業 京都五山送り火
18時集合
参加費 内部生無料 その他200円

18日(金) 集い場〇ものづくりかふえ
15時から 参加費無料 作成物欲しい方
は有料です。

19日(土) アポロ事業 夏の食事会
参加費 内部生700円その他1000円
お酒は20歳以上のみ 持ち寄りのみです。

23日(水) 集い場〇 活字倶楽部
参加費 内部生無料 その他200円

8月集い場〇健康体操教室 実施しません
8月集い場〇学食 Walk 実施しません
7月28日のミーティングで9月実施分を決定し
ます。
8月集い場〇散策部 7月8日のミーティングで
決定しますが8月または9月の実施になります。

※スケジュールは変更になったり追加されることが
あります。その場合は事務所掲示・フェイスブッ
クページ・ブログ・代表 SNSなどで告知いたしま
す。

フェイスブックページ
<https://ja-jp.facebook.com/ksce.apollo>
Twitter ID 「ksceleader」
ブログ http://ksce.jp/?page_id=1234

※集い場〇と書いているものは集い場〇事業
表記のないものはアポロ事業として実施していま
す。
集い場〇・アポロ事業ともに平成29年度
京都市によるNPO等民間団体の子ども若者支援
促進事業の助成を受けて実施しています。

8月11日(金)～17日(木) 夏期休業
毎週日曜・月曜 お休み

KSCE 全般もしくは通信に関するお問い合わせ・ご意見は、下記までお願いします。

E-mail の場合 soudan@ksce.jp、TEL/FAX の場合 075-211-0750、郵便は〒604-8005 京都府京都市中
京区三条河原町東入ル恵比須町 439 早川ビル 6F 京都教育サポートセンター KSCE 通信係 まで。

2017年7月6日発行 特定非営利活動法人 京都教育サポートセンター